

平成28年度 6月定例会会議録

◎招集年月日 平成28年6月17日（金）

◎開催日時 平成28年6月29日（水） 午後3時～午後5時20分

◎場 所 伊那市役所 庁議室

◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、原田教育委員、田畑教育委員

◎欠席委員 なし

◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員の一言（宮脇職務代理者）

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
（質疑なし）

第2 協議事項

（1）伊那市教育委員会運営方針について

- ・資料に基づき委員長説明
- ・委員長から、底力をつける学びはどうしたら身につくのか問われ、委員より、伊那東小学校で互いに教え合うことを前提に問題を説明し話し合う算数の割り算の授業を参観した。正解を覚え込む授業ではなく、児童が考え、互いに教え伝えていく過程がキーポイントになるのではないかとの意見があった。
- ・委員長より、子ども観をどこに置くかによって、授業のありようが変わってくる。子ども観を磨く修養を求めていきたいとの発言があった。
- ・委員より、人に伝えたり教えたりすることは自ら工夫することにつながり、聞くだけの授業から、自分で工夫していくという考えを呼び起こす授業への転換は効果的であるとの意見があった。
- ・職務代理者より、伊那小学校の学校訪問に行ったところ、1年生の総合学習でアレルギーの児童がおり動物の飼育ができないクラスで、散歩中に捕まえた蛇を飼おうという意見が出ていた。先生は困っていたけれど、子どもの興味をうまく引き出していくことが、子どもたちに力をつけていく方策の一つではないかとの意

見があった。

- ・委員長より、信州大学附属長野小学校におられた溝上淳一先生が子どもたちと蛇を飼育し、蛇を運動会のリレーのバトン代わりにしたり、蛇に関する意識調査をしたり、最終的に「スネーヨの祈り」という絵本を作る活動を行ったりした。蛇に興味関心を持った子どもたちに、一般的に一步引いてしまう蛇に対する偏見に踏み込んだ活動に取り組んだ溝上先生のすごさが紹介された。
- ・（教育目標についての意見はなし）
- ・委員長から、教育委員会の重要施策に関し、総合教育会議での協議を通じキャリア教育の項目を追加したことについて問われ、委員から、ありがたいとの発言があった。
- ・委員長から、教育委員の活動の充実と活動の発信に関し、関係団体との意見交換のうち、④の「PTAとの懇談」ができていないので、事務局で機会を作るよう指示があった。
- ・協議の結果、提案のとおり、「平成28年度伊那市教育委員会運営方針」は承認された。

第3 報告事項

(1) 市議会6月定例会一般質問から

- ・資料に基づき教育次長説明
- ・関連して、委員長から、高遠学園構想について7月4日に開催される「高遠高校振興会理事会・総会」で交流の要望がまとまり、28年度の方向性が示されるため、次回教育委員会の折に報告するとの発言があった。

(2) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

(3) 児童生徒数見込みについて

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、長谷小、伊那西小、高遠北小、新山小の小規模校について、心配するほど減少せず横ばい傾向という捉え方でよいか質問が出され、学校教育課長より、横ばいから若干減であるが、新山小は増加の見込みであるとの説明があった。
- ・委員長から、長谷中学校についても生徒数は少ないものの横ばいで推移しており、小規模校の児童・生徒数の減少が最も危惧される場所であるが、そこが横ばいであればありがたいとの発言があった。

(4) 小学生総合的な学習発表交流会開催要項について

- ・資料に基づき指導主事説明

- ・委員長から、開催回数も重ね定着してきており、各学校の取り組みもトピック的でなくなってきたという評価でよいか質問があり、指導主事より、普段の学習で学んだことをそのまま発表しており、発表することにプレッシャーはあるものの、大変意義のある会であるという評価を受けているとの説明があった。
- ・委員長より、発表を通じ、豊かな発想力や発表力あるいはコミュニケーション力をつける狙いが達成される。開催の目的についてよく理解してもらうよう指示があった。
- ・委員長から開催経費はいくらか質問があり、学校教育課長より、会場の借り上げとバスの借り上げで116万円ほどの予算規模であるとの説明があった。

(5) 中学生サミットについて

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・委員長から、議案のうち「市街地と山間地の利便性の格差を減らしていくまちづくり」はどのように提案されたのか質問があり、指導主事から、文言の整理は十分ではないかもしれないが、「高校に通う」「電車に乗る」などの交通の便を考えた時、格差を感じるとの生徒の声から拾われたものであるとの説明があった。
- ・委員長から、それに対して市長・関係部課長に答弁を求めるのか質問が出され、指導主事より、今後具体的な提案を募るなかで、市長・関係部課長に答弁してもらうとの説明があった。
- ・委員から、シナリオによらない自由討議の設定は考えているか質問があり、指導主事より、議会形式で答弁を求めるということもあり、提案内容、考え方については、シナリオに沿って発言していくことを考えているとの説明があった。
- ・委員長から、質問形式は「1問1答方式」か質問があり、指導主事より、「1問1答方式」ではなく、各議案について、中学校どうしの話し合いを行い、提案に対して他の中学校から似た提案、質問・意見が出れば、提案校はそれに答え、最終的にその提案に対して、市から答弁をしてもらうとの説明があった。
- ・委員長から、議長は生徒がするのか質問があり、指導主事より、そうであるとの説明があった。
- ・委員長から、議場で質問しそれに市から答弁を求めるという極めて貴重な体験であり、そこに重点を置くということであれば、こうした進行でよいのではないかと発言があった。
- ・委員から、参加する生徒は、議会の模擬体験として18歳選挙権を視野に入れた活動であるということを経験しておくのか質問があり、委員長から、生徒は、18歳選挙権について、学校で学習しておいてもらった方がいい。中学生サミットの開催が、参加する生徒だけのものにとどまるのはもったいないとの発言があった。
- ・委員から、ケーブルテレビでの放送があるか質問があり、教育長より、議場では録画しているが、放映はないとの説明があった。
- ・委員から、議会形式の中学生サミットの録画を使うことで、授業の中で18歳選挙権に触れるという事後学習に活用できるのではないかと発言があり、指導主事より、記録は後日活用できる形で録りたい。また、事前学習として、例えば、

東部中学校では、生徒会を中心に自分たちが市の行政に参画するというのはどういうことかを講師を呼び学習をした。中学生サミットがこの日のためのものだけでなく、日常の学習からつながってきているとの説明があった。

- ・職務代理者から、今までのものを見てきて、原稿に先生が手を加えている印象を受ける。そこに至るまでに、子どもたちが話し合う、考えたことをベースに作る、できるだけ子どもたちの言葉で提案できるといいとの発言があり、指導主事より、大人の言葉、飾った言葉で発言する必要はないので、その方向で伝えていくとの説明があった。
- ・委員長から、「市街地と山間地の利便性の格差を減らしていくまちづくり」を長谷中の子どもたちが自分の問題として考えているのかが問われているとの質問に対し、学校教育課長より、最初の発案は生徒達からで間違いないとの説明があった。

(6) 伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」実施状況について

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・委員から、従来、田であったところを畑に、畑であったところを田にしたことについて質問があり、指導主事より、地域の方の「逆の方が水利の効率、栽培条件がいい。」という助言によって変更したとの説明があった。
- ・委員長から、「暮らしのなかの食」を実践しながら、一方で教師主導の注重的な教科学習をやるというような学習の二極化が起こると、子どもは学習というものが分からなくなってしまう。二極化を起ささないためにも、「平成28年度教育方針」に掲げた4視点を常に頭に入れて各学校がどういう取り組みをしているかを報告してもらいたい。もう少し各学校の取り組みについて聞き取り、考察を加えて書いてほしい。「暮らしのなかの食」は伊那市の最重要教育課題であり、これが定着して10年後、伊那市の教育として成長しているかどうかというところに関わってくる。せっかく内山先生に来てもらって指導してもらっている、今が一番大切なところなので、十分に分析しながら進めて、4視点から磨いてほしいとの発言があった。

(7) 伊那市成人式について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・教育委員の日程調整の結果次のとおり決定した。
 - 竜西地区 宮脇職務代理者
 - 竜東地区 田畑委員
 - 富県地区 宮脇職務代理者
 - 美篤地区 田畑委員
 - 手良地区 原田委員
 - 東春近地区 松田委員長
 - 西箕輪地区 原田委員
 - 西春近地区 北原教育長

- 高遠町地区 北原教育長
- 長谷地区 松田委員長

- (8) 夏期休業特別街頭補導について
- (9) 夏期休業特別学童クラブについて

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、長野県議会での淫行処罰条例の制定に関し、街頭補導の補導委員やPTAの皆さんと「条例の制定とは別に従前どおり住民の協力でやっていくことが大事だ。」ということを確認、話し合うことはあるかとの質問があり、生涯学習課長より、補導委員会や子ども会育成会の総会の折に、県の動きに注目してほしいという話はしてきた。その中で、この件について討論になるところまでは行っておらず、市としては今までどおり青少年の健全育成の活動を続けていくという話をしてある。この後、特別街頭補導についても打合せがあり、勉強会をやることになっているとの説明があった。
- ・委員長から、条例ができたからといって、従来より取り組みが弱くなるということでは残念なので、そこを確認していただきたいとの発言があった。
- ・委員長から、学童クラブの「家族等が家に不在」とする入所条件は徹底されているか質問があり、生涯学習課長より、基本的に学校を通じて申請を受けることになっており、学校で確認し判断しているとの説明があった。
- ・委員長から、夏休みの目的に、朝から夜まで家族と共に過ごす、そうした生活を体験するという意味があり、そうした意味をはっきり訴えてもらいたいとの発言があった。

- (10) 市民プール・高遠スポーツ公園プール開きについて
- (11) ラジオ体操オープニングセレモニーについて
- (12) 第21回伊那市小中学生陸上競技記録会の結果について
- (13) スポーツ少年団日独同時交流事業ドイツ団受け入れについて

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、プールの管理体制のうち監視員は誰が当たるか質問があり、スポーツ振興課長より、市民プールについては警備業の許可を保有する事業者に委託している。高遠スポーツ公園のプールについては、直営で、20年以上やっていた方がおり、その方に引き続きお願いしていくとの説明があった。
- ・委員長から、万一の事故時の責任体制について質問があり、スポーツ振興課長より、委託の場合、業者責任もあるが、委託元である教育委員会についても責任がないというわけではない。事故防止と万一の事故対応には万全を期すよう指導しており、AEDの準備・救急救命講習会を実施するとの説明があった。
- ・委員長から、定期的にスポーツ振興課の職員が巡回することはあるか質問があり、スポーツ振興課長より、例年、頻繁に実施はしていないが、本年は猛暑の予想で多くの入場が見込まれるため、定期的に巡回しマニュアル通りの運用ができていくか指導していきたいとの説明があった。

- ・委員長から、巡回で緊張感が維持できる。事故防止に万全を期してほしいとの発言があった。

(14) 荻原健司氏によるスポーツ指導者スキルアップ事業講演会及びノルディックウォーキング教室について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

(15) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

5 その他（教育次長）

(1) 7月の日程について

上伊那市町村教委連絡協議会総会・研修会	7月6日（水）13:00～伊那公民館
「暮らしのなかの食」内山講師学校視察	7月14日（木）13:00～
第2回市内校長会	7月11日（月）9:30～501・502 会議室
定例会	7月28日（木）9:30～庁議室

(2) 8月以降の主な日程について

- ・中学生サミット 8月 9日（火）13:00～ 議場
- ・教務主任との懇談会 8月10日（水）9:30～【予定】501・502 会議室
- ・定例会 8月26日（金）13:30～ 庁議室
(館長との懇談（予定）)

(3) 定例教育委員会等日程について

- ・第2回総合教育会議 9月20日（火）15:30～ 庁議室【予定】
- ・9月定例会 平成28年 9月29日（木）午後1時30分～4時30分
(議会総務文教委員会と懇談（予定）)
- ・10月定例会 平成28年10月27日（木）午後1時30分～4時30分
- ・11月定例会 平成28年11月24日（木）午後1時30分～4時30分
- ・第3回校長会 平成28年12月【調整中】午後3時00分～5時15分
- ・12月定例会 平成28年12月26日（月）午後1時30分～4時30分

6 閉 会